

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

関西電力病院で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	当院回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺症例の上肢運動麻痺とADL参加頻度について
2. 研究の対象者	2018年4月1日から2020年3月31日の間に、脳卒中の診断名にて当院のリハビリテーション科に入院されリハビリテーションを受けられた方
3. 研究期間	令和3年10月 22日 ～ 令和4年 4月 1日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師 小森 隆一 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	脳卒中患者における麻痺側上肢の使用頻度には、重症度が関連することが報告されています。しかし、重症度以外に、どのような要因が関連しているのかは明らかではありません。そこで今回、重症度に性別や利き手等の患者背景や、麻痺側上肢の運動機能等の要因を加え、脳卒中麻痺側上肢の使用頻度に影響する因子を検討することを目的として、研究を開始します。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）より患者背景や、上肢機能評価の結果を収集し、それらを用いて麻痺側上肢機能と日常生活での使用頻度との関連について検討します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	基本情報（診断名、年齢、性別、既往歴、発症から当院回復期病棟入棟までの日数、当院回復期病棟入棟日数、機能的自立度評価法）上肢機能の評価結果（National Institutes of Health Scale、Fugl-Meyer Assessment、Action Research Arm Test、握力、感覚、利き手）
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部技師 寺内 万弥
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 寺内 万弥 電話：06-6458-5821（代表）